

平成 27 年度 採材検討会実施

平成 27 年 7 月 9 日（木）、雫石町の高松山国有林にて、平成 27 年度採材検討会を実施しました。

今年度は、販売委託契約をしている岩手県森林組合連合会に加え、システム販売協定を締結している有限会社二和木材と株式会社 玉山製材所にも参加いただき、採材方法について意見を頂きました。また、県の職員の方にも参加いただき、昨年度よりも大規模な検討会となりました。



検討会では、岩手県森林組合連合会、続いて二和木材及び玉山製材所の経営者の方々から、最近の木材市況の動向について話していただきました。この話の中で、岩手県内の市況や東北から西日本・海外に出荷した事例の紹介もありました。

買い手側である製材所は、販売している商品やその製造機械によって、買うか買わないかのはっきりとした基準を持っており、我々としては求められるスペックの丸太をきちっと提供していくことの重要性を再認識させられた次第です。

その後、切り倒して枝を落とした 1 本の木を前に、どこから何メートルで切れば、曲がりの少ない丸太になるか、高く売れる丸太になるのか話し合いながら、チョークで切る箇所に印をつけて実際に丸太にしてみました。



1本の木を丸太にしていくにも、曲がりのばらつきをそろえることを重視する、現地や製材所の作業効率を重視するなど、切り方も人それぞれでした。

また、いざ切ってみると、思っていた以上の曲がりがあったりと、採材の難しさを痛感させられました。

いずれにしても国有林としての収入確保と地域の木材産業が必要とする原材料の供給という2つの使命を適切に果たせるよう取り組んでいきたいと思えます。

